

目からウロコのピアノ奏法

～どんなに努力してもうまくいかないと悩んでいる人のために～

一流の演奏家が、難しいパッセージをいとも簡単に演奏しているのは、彼らが天才だから？それとも練習量が半端じゃないから？

もちろん、彼らは優れた運動能力とバランスのとれた柔軟な手指を持っているに違いありません。でも、そんな並外れた能力を持ち合わせていない人でも、弾き方を見直すだけで、弾けなかったパッセージが驚くほど簡単に弾けてしまい、あきらめていたテクニックをものにすることができるようになります。

一生懸命練習しているにもかかわらず上達しないとしたら、何かが間違っているのかもしれない。

1. 西洋人と日本人の身体の使い方の違いを知ろう
2. 弱い指は、鍛える前に使い方を見直そう
3. 1指、5指の弾き方を見直そう
4. 腕が痛くならない弾き方を身につけよう

●日 時：2017年11月22日(水) 10:30～12:30

●会 場：カワイ梅田コンサートサロン Jouer(ジュエ)
〒530-0001 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル1F

●使用テキスト：「目からウロコのピアノ奏法
～オクターブ・連打・トリル・重音も即克服～」
(注文番号：GTP01088676 定価 [本体1,300円+税])

●参考テキスト：「目からウロコのピアノ指導法」(GTP01091970 定価 [1,500円+税])

★テキストは当日も販売いたします。

●受講料：会 員／2,500円(税込)
(音研会・PTNA・JPTA・カワイメンバーズ)
一 般／3,000円(税込)



講師：馬場 マサヨ
＜講師プロフィール＞

名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て、東京藝術大学音楽学部ピアノ科卒業、同大学大学院音楽研究科修士課程修了。第31回全日本学生音楽コンクール西日本大会 高校の部 第2位。第53回読売新人演奏会(東京)に藝大生代表として出演。第1回 ウィーン音楽コンクール イン ジャパン第1位入賞。これまでに、NHK交響楽団、オーケストラアンサンブル金沢、名古屋フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団等のオーケストラと共演。室内楽の分野では、チェコフィル六重奏団、シュトゥットガルト・ゾリステンとも共演。親しみやすいレクチャーコンサートや、親と子の名曲コンサートなどを全国各地で行う。著書に「目からウロコのピアノ奏法～オクターブ・連打・トリル・重音も即克服～」(ヤマハミュージックメディア刊)がある。現在、金城学院大学文学部音楽芸術学科教授、PTNA正会員。



※お問い合わせ・お申し込み

カワイ梅田

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル1F
TEL：06-6345-8300 / FAX：06-6345-8863
E-mail：umeda-shop@kawai.co.jp

キ リ ト リ セ ン

馬場マサヨ先生 連続セミナー 1回目 「目からウロコのピアノ奏法」申込書

申込日 月 日

お名前		種 別	・会 員(音研会・PTNA・JPTA・カワイメンバーズ) ・一 般
ご住所	〒		
T E L		携帯電話	
E-mail			

※ お客様が本書面に記載された個人情報は当社の営業活動(ダイレクトメールの発送等)のために使用致します。法令で定める場合のほか、お客様の承諾なしに他の目的には使用致しません。